

自チームの監督として参加している耐久レースに、ドライバーとして参加してみたい！そんな思いで応募することに、「カーセールアオキの青木です。何時も監督業なので乗せてください」と当然却下と予測していた3月上旬ミニフリーク編集部より一通のメールが、要約すると「ゴリーと仲良く出来るなら乗せてやるぞ」との事。一番難しい条件だがここは大人の判断で「よろしくお願いいいたします」と返信:

当日朝の集合時間は6時半。ドライバーはゴリー氏とAOKIの他2名計4名、見慣れた顔の女性ドライバーと十数年前にミニに乗っていたと言うSさんだ。ミニを降りてからもミニフリークを買い続け今回の企画に応募したとの事。まずはアイドラーズ耐久恒例のスタートグリット抽選、予選走行は無いので抽選でグリット順を決めると言う荒業！何時もは自分で引くがはつきり言ってくじ運が無い！今回はチーム監督のゴリー氏が引く、16番スタートだ。早速ミーティング開始、目標周回は以前の964号車の筑波タイムを調べておき大体の個人タイムを予測・給油停止時間・ハンデストップタイム・乗り換え時間やIN/O

UTラップを計算して120周と設定。その他乗車順・給油タイムイング・乗り換えの段取り・ハンデタイムの消化・サインの確認等行う、何時もはここまでで、後はドライバー任せでのんきにしているが今回はそうもいかない！お借りする車の仕様やギヤ割り注意事項をスタッフの方に確認、スピンなどしようものなら全国誌で笑いものだ・やばい緊張してきた！「食事は試合の4時間前に」とイナバウワー荒川が言っていたので乗車時間の4時間前に昼食を済ませる。

スタートはゴリー氏、多少出遅れたが順調に周回を重ねている、タイムも想定内の範囲内だ。予定周回数でピットイン第二ドライバーのSさんに交代、数周するとフルコースコーションでペースカーが入りかなり周回をとられてしまった。始めはスピードに乗れていなかったSさんだがペースカーが抜けると周回ごとにタイムをつめている！最終的にはゴリー氏より良いタイムが出ていた。自分が乗らない時にはチーム内でタイム争い等してトラブルが起きないように散々言うが、自分が走るとなると話は別！等と考えていたら規定時間に。ピットイン、給油、乗車・

緊張はピークに…

いざコースイン！楽しすぎる！ミニ1000でサーキット走行するのは初めてだが、筑波はミニ1000の為に有るのではないかと思うぐらい車に合っている。最初はパワーの無さに驚いたが周回を重ねるうちになんとなく乗り方が分かってきた。ほとんどの車が上のクラスで後方を気にしながらクリアーでアタック、1コーナーに3速で侵入しS字全開で4速にシフトUPし3速で1ヘアを抜けダンロップから2ヘアまでは全開し2ヘアは3速で侵入しバックストレート最終手前で4速にUPそのまま侵入全開で1コーナーまで。楽しすぎてサインボード見るのを忘れていた！目の前のプラップは電源が落とされている、レース前ゴーリー氏と「タイム見るといやになるから消しておこう」と切ったままだ、体内時計では1分9秒台が出ているのは間違いないが…手を伸ばしプラップの電源をON・コントロールライン通過しON…そこからいろいろ試してみるが青旗振られまくりでクリアーがとれない、すでに残り3週の指示が…見逃したことにしてこのままチェッカーまで走ってしまおうかと思っただけでプラップに24秒8

98の表示が…とりあえず規定周回数でピットイン、最終走者の女性ドライバーに交代。彼女は筑波をかなり走りこんでいるので964号車で

どのくらいタイムが出るのか楽しみだが、心の底では「オレよりいいタイム出さななくてくれえ」と合掌・耐久チームの一員としては風上にも置けない心理状態だ。順調に周回を重ねラップタイムを更新していく…最終的には彼女の0・3秒落ち、AKI乗車時には給油後の重たいマシン・体重差は20キロ以上・良く見ると路面状態もさつきよりいい・何より彼女は筑波を走り慣れている！総合判断でオレのほうが早かったと結論付けてようやく平常心へ…結果は114周で17位、順位はともかく思いの他スムーズに運びペースカーが無ければ目標の120周に楽に届いていたことだろう。全員そろって表彰式へ、一日お疲れ様でした。しかしミニ1000は楽しい！今度は自分で作って持ち込もう！「まだ楽しみを知らない人たちにも乗ってもらおう」と考えながら、車を用意してくれたスタッフや機会を提供してくれたミニフリーク誌・ゴーリー氏に感謝して筑波を後にしたのだった。